



玄界島復興だより

第 15 号

発行：玄界島復興対策検討委員会

12/8 第8回島民総会を開催しました

- 議題
1. 市営住宅
 2. 共益費の負担
 3. 集会所の負担金
 4. ガイドレール等安全施設及び公園・舗装
 5. 玄界島復興後の目標像
 6. 寄付金・義援金の途中経過報告
 7. 老人クラブ連合会からの寄付金の用途
- 【総会終了後】
市営住宅に関する説明会

市について

市営住宅の整備戸数について福岡市から説明がありました。また、各棟の名称について次の通り決定しました。

- 寄木地区の3棟・・・福岡市営玄界寄木住宅
- 小鷹東側の3棟・・・福岡市営玄界中央住宅
- 西地区の1棟・・・福岡市営玄界西住宅

(参考)

- 福岡県営玄界小浜住宅
- 福岡市営玄界東住宅
- 福岡市営玄界西住宅
- 福岡市営玄界住宅

共益費の負担について

市営玄界中央住宅のエレベーターとブリッジは、斜面集落部への上下移動支援施設として地域開放することから、ブリッジ利用分のエレベーターの電気代は、全世界帯で負担することを決定しました。

集会所の負担金について

漁協前に整備される集会所は、地元負担により増築することとしており、その負担金額について了承を得ました。集会所の共益費について、市と地元の負担方法を決定しました。

ガイドレール等安全施設及び公園・舗装

ガイドレールや転落防止柵などの安全施設や公園、舗装の計画について福岡市から説明がありました。



市営住宅の説明を聞く島民の様子

復興後の目標像について

復興後、島全体で取り組む新しい島づくりの目標として、5つの目標を掲げることを決定しました。また、その取り組みの第一歩として、山道づくりを島全体で取り組むことを決定しました。

玄界島の目標像

- 目標1 災害に強く安全・安心なしまづくり
- 目標2 震災を契機として島内外世代を超えた交際のしまづくり
- 目標3 豊かな自然環境を活かした元気で美しいしまづくり
- 目標4 健康福祉のしまづくり
- 目標5 伝統・文化が息づくしまづくり

老人クラブ連合会からの寄付金の用途

老人クラブ連合会からの寄付金については、「高齢者のための環境整備をはじめとした玄界島復興への寄付」が主旨であるため、以下のものなどに活用することを決定しました。

集会所・老人憩いの家の備品、復興記念碑の整備、記念碑等の修復、防災グッズ、健康器具など

市営住宅に関する説明会

市営住宅入居までのスケジュールや部屋の間取り、抽選方法などについて福岡市から説明がありました。

市営住宅 入居住戸決定

12月15日、市営住宅の抽選会が実施され、入居する部屋が決定しました。

現在、市営住宅は構造躯体が完成しており、今後、内装・外装・外構などの工事が進められ、3月下旬には入居できる予定となっています。



抽選会の様子

前号からの委員会の動き

- 第65回 1/5 復興を機に「開かれた玄界島」を目指し、島の振興に取り組むこと、集会所等の共益費の負担方法を復興委員会として決定しました。また、これらの検討結果を総会に諮ることとしました。
- 第64回 11/30 第8回島民総会の議題および説明内容について協議しました。
- 第63回 11/20 市営住宅の抽選結果を確認しました。また、老人クラブ連合会からの寄付金の各用途について担当を決め、検討を始めました。

謹賀新年

昨年は、宅地造成や市営住宅建設など復興事業が大きく進むとともに、西陸下や大臣などに励まされた年でした。年も明け、復興まで2ヶ月余りとなりました。復興の象を閉じる時期となりました。復興、そしてその後の振興に向け、今年も島民一丸となって取り組みましょう。

美しい島づくりのための 玄界島戸建て住宅建設ガイドライン

戸建て協議会では、美しく暮らしよい住まいづくりを目的として「玄界島戸建て住宅建設ガイドライン」を作成し、必ず守るルールと守りたいルールを定めました。



1. 建物の配置＝壁面後退
建物壁面は境界から後退させて建てましょう
(道路面は1.5m、その他は75cm)
2. 建物の階数
建物の階数は、原則として2階までとしましょう
(周辺への影響が少ない場合は例外)
3. 敷地の囲い
敷地の囲いは高い敷地の人が設置しましょう
平らな土地では、集落外側の人が設置しましょう
4. 屋根の色
落ち着いた色の屋根にしましょう
5. 囲いのつくり方
隣地との囲いは、安全で圧迫感の少ないものにしましょう
6. 屋根の形
屋根は勾配屋根としましょう
7. 外壁の仕上げや色
外壁は落ち着いた素材・色にしましょう
8. 門前灯
夜道の安全・安心のため門口に照明をつけましょう
9. シンボルツリー
門口にシンボルツリーを植えましょう

第19回
11/30
置について説明がありました。

戸建て協議会の動き



上棟式の様子

戸建て住宅の建設が始まりました
10月末にライブラインの整備が完了し、11月から戸建て住宅の建設が始まりました。市営住宅も姿を現し、3月下旬の復興に向け、住宅の再建が進んでいます。



現在の工事状況（平成19年12月26日撮影）



島民に声をかける冬柴大臣

冬柴国土大臣視察
11月30日、冬柴国土交通大臣が復興状況を視察し、復興委員と意見交換しました。大臣は、消防団などの活躍で一人の死者も出さなかったことに感心され、「日ごろからの防災意識を高め、地域を痛感した」とおっしゃいました。



修復された小鷹神社の鳥居

小鷹神社・頌徳碑 修復完了
自治会による小鷹神社や若宮神社の鳥居、頌徳碑などの修復工事が11月末に完了しました。また、修復完了に伴い小鷹神社や頌徳碑に復旧記念碑を設置しました。11月23日には、島民総出で鳥居のしめ縄をつくりました。



崩れ落ちた鳥居は保存しました



しめ縄づくりの様子



餅をつく子どもたちの様子

餅つきをしまし
昨年引き続き12月26日に、工事関係者の方々と一緒に、餅つきを行いました。子ども達もつき方を教えてもらいながら、楽しそうに餅をついていました。

福岡市 松田 哲也
久島 恵子
玉川 裕子
古島 尚樹
玄界島 広報部



元気いっぱい太鼓を演奏しました

カレンダー

- 1/9(水) 老人クラブ三社参り
- 1/22(火) 小学校 学習参観・懇談会
- 1/26(土) 保育園お楽しみ会(公民館)
- 1/29(火) 中学2年生 修学旅行(～31)
- 1/31(木) 保育園 入園受付締切
- 2/3(日) 青少年のための音楽会
- 2/26(火) 小学校 学習参観・懇談会 (中学校入学説明会)



玄界島復興だより

第 16 号

発行：玄界島復興対策検討委員会

福岡県西方沖地震から3年

復興事業完了

住宅の再建まもなく



平成17年3月20日の福岡県西方沖地震から3年。道路の整備や市営住宅の建設が完了し、福岡市の復興事業が完了しました。4月には戸建住宅もほぼ完成し、住宅の再建を終えます。

全員帰島、新居への引越

住み慣れた家の姿はなく昔の面影はなくなりましたが、安全・安心・快適な島へと生まれ変わりました。そして3月25日、念願の全員帰島が実現し、ようやく島民が一緒に暮らせる日々が戻ってきました。また、23日には戸建住宅への引越を開始し、25・26日には市営住宅への引越を実施しました。新しい島、新しい家での、新たな生活が始まりました。



【写真上】復興事業完了後の玄界島 (平成 20 年 3 月 25 日撮影)

【写真下】震災直後の玄界島 (平成 17 年 3 月 23 日撮影)

復興を終えて

玄界島復興対策検討委員会会長 伊藤和義



桜花爛漫、美しい自然が躍動し始める陽春の季節を迎えています。平成17年3月20日のあの悪夢のような出来事が島をおそい見るも無惨な姿となりました。私達はどこからどうすればと途方にくれる日々でしたが、早くなんとかがなくてはという思いから、島民みんなで勇気をふるいたせ、一致団結し、同じ方向へと向かい、島の復興に取り組みで参りました。そして市民の方々の幅広い応援や行政のお力添えを頂きまして、復興を完了することができました。

特に玄界島復興事務所の方々のお骨折りは、私も玄界島の人々の心に残るものだと思います。3月25日にはかもめ広場から丸3年ぶりに帰島が完了し、26日には仮設住宅から新しい市営住宅への入居、さらに戸建住宅の方々も入居が始まりました。また一足先に昨年3月、県営住宅へも入居いたしました。このように入居の形はそれぞれに違いはありますが、新しく生まれ変わったふるさと玄界島の素晴らしい環境の中で、まずは今迄3年間の疲れをゆつたりと身も心もほぐしていただきたいと思えます。そして頑張ってきた良かったなあと、お互いが喜び合いながら元の思いやりのあるコミュニティのとれた玄界島の新しい生活ができますことを心から願うものであります。

前号からの委員会の動き

- 第66回 1/29 ごみ収集について福岡市から報告がありました。また、引越や隣組の再編について協議しました。新しく整備された公園や川の名称を決定しました。
- 第67回 2/28 島の振興策について協議しました。また、第9回島民総会の議題および説明内容について協議しました。
- 第68回 3/25 引越のスケジュールについて福岡市から説明がありました。また、新しい集落部における隣組の編成を決定しました。どなたのイベント内容や記念碑について協議しました。



新しい住居への引越



完成した市営住宅



帰島を出迎える島民



かもめ広場からの全員帰島

3月23日(日) 戸建住宅への引越 斜面地に新しく立ち並んだ戸建住宅への引越が始まりました。3月25日(火) かもめ広場からの全員帰島 かもめ広場に残っていた19戸42名の島民の皆さんが島に戻ってきました。また、既存の市営住宅や教職員住宅などから市営住宅への引越が行われました。3月26日(水) 市営住宅への引越 島内の仮設住宅から新しく建てられた市営住宅への引越が行われました。

復興を終えて

福岡市 玄界島復興担当部長 須山哲治

島民のみならず、本当に長い間お疲れ様でした。私は仮設暮らしは未経験ですので3年間におよぶ不自由な日々を推し量ることはできませんが、やっと解放される日がやってきました。新しい住まいで精一杯手足を伸ばしてください。島の様相は一変し、昔の面影はありませんが早く新しい生活に慣れてほしいと思います。以前は怒越しに「よい」と声をかければ隣から返事が返ってきていたのですが家と家との間隔も広くなったり、公営住宅も独立した生活空間になってしまった。高齢者の皆さんは特にそうかもしれませんが、高齢者の皆さんは特に公園や道路沿いといったところベンチを配置しました。斜面地もエレベーターを利用すると案外上がれます。また老人いこいの家も便利なところに配置しましたので大いに利用してほしいと思います。



3年前、我々は島に事務所を構え、皆さんの熱い思いを受け止め、その実現に向けてつづつ仕事をさせていただきました。単なる腰掛けでできるものではありませんでした。それだけに我々職員も熱いものを感じます。事業完了を共に喜びたいと思います。

市の復興部は3月末をもって廃部となりましたが、担当した職員にとっては達成感のある貴重な経験させてくれたと思っています。最後に、玄界島が千客万来の豊かな島になり、皆さんが健康で幸せな日々が送られますようお祈りいたします。島藤太鼓 玄界太鼓カンパレ!

戸建て協議会の動き

- 第20回 1/11 戸建て住宅の建設工事で出た残土の処理方法について検討しました。また、引越について協議しました。
- 第21回 3/1 前回に引き続き、残土の処理方法や台船、引越について協議しました。

カレンダー

- 3/14(金) 中学校 卒業式
- 3/18(火) 小学校 卒業式
- 3/20(祝) 復興事業完了記念式典(雨天中止)
- 3/23(日) 戸建住宅への引越開始
- 3/24(月) 小中学校 修了式
- 3/25(火) かもめ広場からの全員帰島
- 3/26(水) 市営住宅への引越
- 3/31(月) 保育園 修園式
- 4/ 5(土) 保育園 入園式
- 4/ 7(月) 小中学校 始業式
- 4/ 9(水) 中学校 入学式
- 5/ 3(祝) どんたく港まつり参加
- 5/ 4(祝) しまびらきイベント

3年間、本当にお世話になりました(復興事務所職員一同)



吉田市長、復興事務所の皆さん、復興委員で集合写真

復興事務所 閉所

福岡市玄界島復興事務所が3月31日に閉所しました。島民以上に島の将来のため復興に尽力していただいた復興事務所の皆様、3年間本当にありがとうございました。



島の復興に向けて

やまみうくりに取り組んでいきます

島の復興に向けた取組の第1歩として、地震から3年間荒れたままになっている「遠見山の山道つくり」に取り組むことが、12月の第8回島民総会で決定しました。そして、シケで流が休みになった2月6日、島民約160名が参加して、山頂へのルートを整備しました。車を刈り、危険な箇所を補修し、階段や手摺を設置しました。引き続き、2月17日には灯台へ続く東ルート、24日には西ルートを整備しました。



山道整備の様子

博多どんたく港まつりに参加します

玄界島が復興をしたことを市民の皆さんに広くお伝えするとともに、多くの方々からの支援への感謝を表すため、「しまびらき」と称して、博多どんたくへ参加することを、1月の第9回島民総会で決定しました。

玄界島	古島	尚樹
玉川	晋万	
梅田	穂	
久島	りか子	
上田	恵子	
松田	ゆかり	
福岡市		
大石	哲也	

玄界島復興だよりは、今号が最終号となります。家族離ればなれの生活の中で、島の様子や子ども達の様子、復興の進み具合などをお伝えしてきました。

福岡市の方々の尽力で、ひと通りの復興は完了しましたが、これから先は島民の「自力」で島の未来のために更なる復興を目指し頑張らなければならないと思います。

3年間、ありがとうございました。(広報部一同)

震災から復興まで 玄界島の三年間の歩み

平成17年 3月20日	本震発生(10時53分)
4月20日	九電記念体育館(全島避難)
4月25日	玄界島復興事務所開設
5月3日	かもめ広場仮設住宅入居
5月7日	玄界島仮設住宅入居
5月21日	海上パレード、どんたく参加
7月6日	玄界島復興対策検討委員会設立
7月11日	福岡市長に要望書提出
8月1日	福岡市長に要望書提出
8月17日	第二回島民総会
8月22日	国へ要望書提出
10月13日	ワークシヨップ開催
10月22日	皇太子殿下、かもめ広場視察
10月28日	座談会開催(25日、30日)
平成18年 1月16日	第五回島民総会
1月28日	しまびらき案決定
3月16日	家屋解体工事はじまる
3月25日	造成工事はじまる
平成19年 11月1日	戸建て協議会設立
3月25日	県営住宅完成
6月25日	かもめ広場からの一部帰島
10月30日	市営住宅建設工事はじまる
11月30日	両陛下、玄界島視察
平成20年 3月25日	戸建て住宅建設はじまる
3月25日	市営住宅、戸建住宅完成
3月25日	かもめ広場からの全員帰島